

文例（遺言の訂正）

第〇条 遺言者は、遺言者の所有する次の不動産を、妻〇〇〇〇（生年月日）に相続させる。

- | | | | |
|---|----|------|---|
| 1 | 土地 | 所在 | 〇〇区〇〇町〇丁目 |
| | | 地番 | 〇〇番地〇〇 |
| | | 地目 | 七地 |
| | | 地積 | 140 [㊟] 150 平方メートル |
| 2 | 建物 | 所在 | 〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番地〇〇 |
| | | 家屋番号 | 〇〇番〇〇 |
| | | 種類 | 居宅 |
| | | 構造 | 鉄筋コンクリート造瓦葺2階建 |
| | | 床面積 | 1階 100平方メートル、2階 95平方メートル |

○行目

3文字削除、3文字加入

〇〇〇〇（遺言者自署）

変更したい部分が誤字脱字や数量などの場合は、遺言自体を撤回・変更しなくても訂正によって変更することができます。ただし、この訂正の方法は、自筆証書遺言に限られますので、公正証書遺言に行っても意味がありません。また訂正は、厳密なルールに従って行わないと、無効になる場合があります。重要な部分の訂正や、訂正部分が多い場合は、必ず遺言による撤回や変更を行いましょよう。

訂正の方法

- ①訂正する部分を二重線で消し、訂正した内容を上に書き、訂正箇所に押印をします。
この時の印鑑は、遺言書の印鑑と同じものを使用しましょう。
- ②訂正箇所の欄外に、訂正内容（訂正の場所、削除文字数、加入の文字数）を明記し、遺言者自らが署名します。